

ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議

2月24日、ロシアはウクライナへの武力攻撃・侵略を開始し、国際社会の強い自制の求めにもかかわらず、さらに攻撃を拡大している。この行為は、独立国としてのウクライナの主権及び領土の一体性を侵害している上、武力によって、その被害は子供を含む多くの一般市民の命を奪うまでとなっており、国際法と国連憲章に明らかに反するものである。

戦争のない平和な世界の実現を求める平和都市宣言を行っている江別市の議会として、この侵略行為は断じて認められるものではない。

よって、本市議会は、ロシアに対しウクライナへの侵略を強く非難するとともに、国際法等を遵守し、即時に攻撃を停止するほか、軍を撤収し、平和的解決を図るよう強く求める。

上記、決議する。

令和4年3月24日

北海道江別市議会